

英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業
 戦略的原子力共同研究プログラム
 事後評価総合所見

評価の概略	
研究開発課題名:微小真空冷陰極アレイを用いた高い放射線耐性を持つ小型軽量撮像素子の開発 研究代表者(研究機関名):後藤 康仁(京都大学) 再委託先研究責任者(研究機関名):長尾 昌善(産業技術総合研究所) 再委託先研究責任者(研究機関名):三村 秀典(静岡大学) 再委託先研究責任者(研究機関名):岡本 保(木更津工業高等専門学校) 研究期間及び研究経費:平成25年度～平成27年度(3年計画) 94百万円	
項目	要 約
1. 研究の概要	微小真空冷陰極アレイを光電面の背後に面状に配置して電子ビームのマトリックス駆動を行う新しい撮像素子を開発するもので、放射線に対して強く、小型・低消費電力、デジタル制御回路との親和性の良い撮像素子の実現を目指す。
2. 総合評価	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px; text-align: center;">A</div> <div> <p>耐放射線を目指した撮像素子の開発として、新しい材料や素子設計等の要素技術の開発を行い優れた成果が得られた。今後、性能向上等も含めたシステムとしての開発を実施し、本成果が実用化に向けて立証されることを期待する。</p> <p>S)極めて優れた成果が挙げられている A)優れた成果が挙げられている B)一部を除き、相応の成果が挙げられている C)部分的な成果に留まっている D)成果がほとんど挙げられていない</p> </div> </div>